

『 今後のフラワー活動についての提言 』

初代フラワー委員長 村岡 清男（「夢」振 相談役）

「夢」振のフラワー活動はスタートして14年目になりました。「継続は力なり」で、休むことなく続けてきたことで新たな発展が期待されつつあります。

当初は、「10年間で100万本」といった壮大な目標を掲げてのスタートでしたが、これはわきゃ島をきれいな花の島、フラワーアイランドに変えていこうという、夢とロマンの大事業計画でもありました。

「夢」振のスタート時に、フラワー事業計画推進について島内・島外で総合的なアンケートを行っていますが、82%の賛同を得ており、その方向性は今も変わらないと思っています。

去る5月、「夢」振代表団で島訪問した時、私たちの新しいフラワー計画(仲間を増やし、さらに活動を強化する)は、島の観光連盟はじめ各集落等のフラワーリーダーや3町行政等との具体的連携・ネットワーク作りが確認されました。こうした状況を踏まえて、「夢」振としてはなるべく早い機会に、次のような活動体制の見直しを行う必要があると思います。

1、本部組織の見直し

岡村委員長を中心にした本部の活動組織(フラワー委員会)を立ち上げ、それぞれの「役割分担」を明確にする。

本部の主たる任務は、島のフラワー活動に対する基金、「活動資金」を集めることであるが、委員長一人で集めるには限界がある。

島の要望に応えた活動を進めて行くには、年間どのくらいの資金が必要か、より効果的な資金集めを展開するにはどういう方策が良いか、などの方針についての衆知を集め、本部としての新しい活動体制をつくりあげて欲しい。活動範囲は全国の徳之島関係者を対象に広げていきたいし、河島副理長が提案している「マイフラワー方式」(オーナー制度)の活用などは資金集めのよい参考になるのではないかな。

2、支部組織について

島(支部)の主たる任務は、本部で集めたフラワー基金を活用して、わきゃ島の県道を中心とした「ふるさとの道」沿いのポイントポイントに、きれいな南国の花を咲かせて、道行く人に感動を与えられるような「花の島づくり」のリーダー役を果たしてほしいということである。そのための活動体制を研究し、「オールとくのしま」で新組織を立ち上げる。事務局は「夢」振が引き受けるようにして、まずは島での活動組織をつくることを提言したい。そのポイントは全島的なフラワーリーダーのネットワークづくりを目指すことである。

観光連盟、3町行政担当関係者等をメンバーとすることは当然であるが、フラワー活動推進に役に立つと思われるシマンチャーなどは、大いに活用されることが望ましい。

3、その他の課題

島関係のテーマであるが、なるべく早い機会に「花苗き作り」についても島で取り組むこと。供給体制が確立したら、3町の出先(中央公民館等)や島の花屋さん等で「供給センター」役を果たせるようにして、いつでも植樹したいという要望に応えられるようにすべきである。

[植樹場所]についても、苦悩されているようであるが、鹿児島県徳之島事務所や3町の道路担当にコンタクトすればすぐに解決する問題である。ただし、管理問題が付いてくるが、フラワー運動では当然のテーマである。

島の花運動の最大のネックであったが、行政も民間の協力が必要な時代になっている。

県の「ふるさとの道サポート制度」の活用に取り組むことを奨めたい。

現在徳之島は15地点の認可箇所がある。この制度は県道の美化を中心にしたもので、個人でも集落でも可能である。(下久志集落などが見本)諸費用として、年3万円の助成がある。

以上

『 徳之島花いっぱい運動10余年の思い出 』

2代目フラワー委員長 雪山 渥美（「夢」振 相談役）

私が花いっぱい運動に関わって、10数年になります。その間を振り返って思い出を語ってみたいと思います。徳之島「夢」振興会議の発足は平成14年6月、その翌年の15年1月に「夢」振の郷土訪問メンバー27名で第1回徳之島訪問を行い、徳之島町井之川集落の町道沿いに、ハイビスカス苗木100本を植樹したのがスタートでした。同年の4月には徳之島の全小学校の新入生に「入学記念植樹」をしてもらったのが徳之島花いっぱい運動のはじまりでした。

その後、平成16年度からは小学校から中学校まで広げて、18年には徳之島高校、19年には樟南第二高校と輪を広げ、徳之島のすべての学校に入学記念植樹をして貰いました。

平成25年度まで10年間、入学記念植樹は継続したのですが、学校の受け入れ態勢に温度差が出て、26年度は見合わせるようになりました。27年度に各学校にアンケートを取って、希望する学校にのみ記念植樹を継続してもらうようになりました。

この10数年、毎年1回ないし2回、花植え関係で島に帰っていました。初めの入学記念植樹時、フラワーサミット、関東在住の郷土表敬訪問、各種団体の観光旅行案内などで。その中で思い出深い、記念植樹体験を三話ほど紹介します。

平成22年5月、東京奄美会主催により、郷土表敬訪問が行われ、佐藤会長（当時）以下30名の訪問団が徳之島を訪れました。訪問計画案内が来たとき、私は島での記念植樹を計画しました。佐藤会長と小勝幹事長（当時）の元を訪ね、記念植樹のお願いをしました。こころよくOKが出ましたので、早速、夢振の重岡徳之島所長に連絡を入れ、30名分のハイビスカス花苗を用意してもらいました。訪問団の宿泊地は与名間のホテルサンセットリゾートでした。ホテルの真下にトリスアスロンで有名なヨナマビーチがあります。その崖下の場所に植樹をしました。重岡所長はじめ島の夢振の有志の皆さんが、前日から花苗の用意、場所の選定、穴掘り等準備をしてありました。植樹は30分ほどで終わりました。終わった後はみんなで記念撮影をしました。大勢のメンバーの中に、東京からの夢振仲間、今は亡き益満友忠、健在の定久文三、信 寛良、稲村義雄、岡村隆文、雪山渥美、等々の顔も見えます。この記念撮影を撮った後に、佐藤会長から「良いことをしてくれた」と感謝の言葉をいただきました。

今年（H27年）の5月、横田新理事長、岡村新フラワー委員長等と共に「フラワー観光サミット」に参加するため島訪問したとき、ヨナマビーチの植樹場所も見てきました。どれほどに育ったか、ある種の期待を寄せて見に行ったのですが、ほとんどが枯れ果てて見る影もない状態でした。よく見渡してみると、2~3株が小さく根を張り、生きのびていました。せめてもの救いという感じがしました。

東京奄美会の徳之島訪問記念植樹の皆さん(平成22年5月)



東京奄美会の徳之島訪問記念植樹の皆さん(平成 22 年 5 月)



平成23年5月、私が長年所属している倫理法人会キャリア会（会長体験者）メンバー25名を引率して、徳之島から奄美大島へ観光旅行にでかけました。この旅行は半年も前から計画を立て、皆さんに呼びかけました。実は倫理法人会の島への旅は2度目です。初回、観光したメンバーで10名ほどが今回も参加されました。この方々には旅行後、浄財面でお世話になっています。島を知らない大和人に寄附金、呼びかけのお手伝いもしてもらいました。

その時の記念植樹場所は宿泊した、ホテルサンセット構内の庭園です。25名の参加者のみなさん、自分の記念樹を植えながら、「この樹がどう育ったか 孫を連れてもう一度見にこよう」「俺も、おれも」と何人もが話す声を聴き、楽しんでいることをうれしく思った。

ここも同じように、見に行った。ここはホテル社長のこころのこもった、朝夕の水まき、手入れ、お世話がゆきとどき、枯れることなく生きのびていた。しかし勢いがいまいちの感じでした。

埼玉県倫理法人会キャリア会の徳之島訪問記念植樹の皆さん(平成 23 年 5 月)



埼玉県倫理法人会キャリア会の徳之島訪問記念植樹の皆さん(平成 23 年 5 月)



平成 25 年 3 月、今度は天経懇話会（天風会経営者の勉強会）メンバー 23 名同行で徳之島、与論島観光をしました。私はこの会とは 30 数年来のお付き合いです。この 10 年、年に一度海外旅行もしています。その仲間が「雪山さんの故郷、徳之島へ行きたい」と言うようになり、25 年に実現しました。私は旅先（海外）で、一杯飲むと雑談で島自慢をしていたのです。いつの間にか、徳之島は彼らの憧れの地になっていたのです。もちろん皆さんは島は初めてです。景勝地を見学することは旅の主な目的ですが、記念植樹をすることを旅の思い出の証に添えました。

植樹場所は松原闘牛場のとなり、松原西区公民館の庭園です。苗木は緋寒桜を人数分、重岡所長以下、いつものお世話役の皆さんが用意して待っていました。私たちは観光バスを降りて勇み足で、植樹場所へいき、スコップ、鍬等を用いて、用意された穴に楽しみながら植樹していきました。終わった後記念撮影をしました。記念写真をご覧ください。皆さん笑顔で楽しいそうです。花いっぱい運動の一仕事終えた満足感のあらわれのようです。

植樹後は宮口区長さんが一手にお世話してくださいました。朝夕の水やり、草取り、肥料与え、自然災害の防止など、親身になって育てていることを耳にして感激に堪えませんでした。しかしこの度見に行ってみると、闘牛場側（写真を撮った所）の苗木は昨年の強烈な台風被害に遭い、全滅状態。だが公民館の横側と後側（海から見て）の植樹は緑葉を伸ばしてすくすくと育っていた。それを見て私は感慨ひとしおでした。

天風会経営者懇話会の徳之島訪問記念植樹の皆さん(平成 25 年 3 月)





一般社団法人 徳之島

理事長	小林 正昭	専務理事	小林 昭弘	理事	豊島 啓市郎
副理事長	郷野 健一郎	理事	西元 寿賀男	理事	成山 秀樹
副理事長	森 徳栄	理事	吉岡 早苗	監事	作 徳久
副理事長	島田 勉	理事	松元 徳光	社員	熊山 幸子
副理事長	國元 正俊	理事	里井 達吉	社員	遠田 悦子
副理事長	作山 作寶			賛助会員	一同

店舗・事務局：〒661-0976 尼崎市潮江 1-20-21 フレッシュコア内

TEL:06-6499-7786 FAX:06-6499-7724

、E-mail:sh-tokunoshima @shirt.ocn.ne.jp

※ 平成 23 年 2 月に設立

ふるさと徳之島を大切に思い、その発展に役立ちたいと活動しております。

ふるさと：心の支え・掛替えのない財産
NPO 法人徳之島「夢」振興会議理事
(事務局長)

町田 憲孝

(井之川出身)

〒257-0056 神奈川県秦野市新町 10-27

TEL/FAX: 0463-81-5684

Email:hatamach@yahoo.co.jp

税理相談・税務代理・税務書類作成
税理士

矢島 和義 事務所

〒160-0022

東京都新宿区新宿 2-8-1 セブンビル 205 号室

TEL : 03 (3341) 1121

FAX : 03 (3341) 5116